



成婚率の高さが決め手!!  
コンピューターを使わず、すべて手づくり100%の誠実なマンツーマンシステムです。また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご提案により、無駄のないご紹介を実施しています。

100%手作りのお世話®

### 結婚物語

賢母良縁、愚母疎縁

初めにお断りしておきましょう。賢母と愚母、その冠についた賢と愚は、一見善きもの悪しきものとすっぱり分かれるように思われますが、実はこれ、全く紙一重の違いでしかないのです。けれど今という時点が過去の瞬間の積み重ね... → 続きはWebで [エムロード結婚](#)

# Marriage Road® 結婚

エムロードはここが違います

- 1 成婚率の高さ
- 2 質の高い会員層
- 3 自社会員のみ構成
- 4 専任アドバイザーによる一貫したお世話
- 5 格式あるお見合いパーティー



資料請求・お申し込み・お問い合わせ

(株)エムロード

0120-4122-46

(10:00~18:00 / 水曜定休)

大阪本社 〒530-0043 大阪府大阪市北区天満 3-2-2 エムロードビル 3F

資料請求

- エグゼクティブコース
- ドクターズコース
- スタンダードコース
- シニアズコース

エムロード 結婚

検索

# 大阪医科薬科大学 仁泉会 ニュース

仁泉会ニュース 第55巻第3号

発行所

〒569-8686 高槻市大学町 2-7

電話 FAX

072-682-6166 072-682-6636

発行者 発行部数

安藤嗣彦 6,250部

URL

http://www.jinsenkai.net

力強く  
天に向かって  
すすくと

## 令和6年度総会開催のご案内

日時：令和6年5月26日(日) 午後3時

場所：ホテルグランヴィア京都

# 目次

P3	令和6年度 定期評議員会及び総会開催のご案内		
祝・卒業	令和5年度 卒業証書・学位記授与式		
P7	令和5年度 大阪医科薬科大学学部卒業式式辞	大阪医科薬科大学 学長 佐野浩一	
P9	祝辞	大阪医科薬科大学 仁泉会 理事長 安藤嗣彦	
学会報告			
P10	日本医療・病院管理学会第422回例会を終えて	上田英一郎	(学40期)
支部だより			
P12	支部長交代のお知らせ		
P13	仁泉会河内長野支部交流会報告	櫻井幹士	(学45期)
P14	第50回 仁泉会奈良県支部総会・懇親会開催報告	尾崎誠重	(学43期)
P16	令和6年 仁泉会高知県支部総会・新年会報告	市原直子	(学24期)
クラス会だより			
P17	学11期 三三会報告	田中 陽	(学11期)
寄稿			
P18	下咽頭がんで声を失ったりハ医が、 がんと共存していくと思えるまで ～生きていくには社会参加が必要だ！～	太田利夫	(学31期)
仁泉ひろば			
P20	巻貝の左巻き	岡野 准	(学21期)
P21	第8回大阪府医師会主催の新研修医 ウェルカムパーティが開催されました！	御前 治	(学33期)
P22	令和5年度大阪医科薬科大学医学部 バスケットボール部OB・OG会総会開催の報告	宮崎信一郎	(学52期)
P23	冊子切抜	鈴木富雄教授	
P24	会員著書	梶川 博先生	(特別期)
P25	会員著書	飯島崇史先生	(学25期)
P26	まんが第67回	ぼん太むたむ	(学31期)
本部だより			
P30	会員名簿記載事項確認書の受付確認のお願い		
P36	会員計報		
P37	開業しました！ 編集後記	奥平 尊先生	(学56期)

## 令和6年度 定期評議員会及び総会開催のご案内

令和6年度の仁泉会定期総会及び評議員会を下記の要領にて開催いたします。お手数ですが出欠を同封の総会葉書（兼委任状）にて必ずご返信ください。

欠席される先生は委任状のご投函をよろしくお願い申し上げます。

ご返信のない場合は総会議案に賛成されたものとしてお取り扱いさせていただきますのでご了承下さい。

是非ご参加賜りますようよろしくお願いいたします。

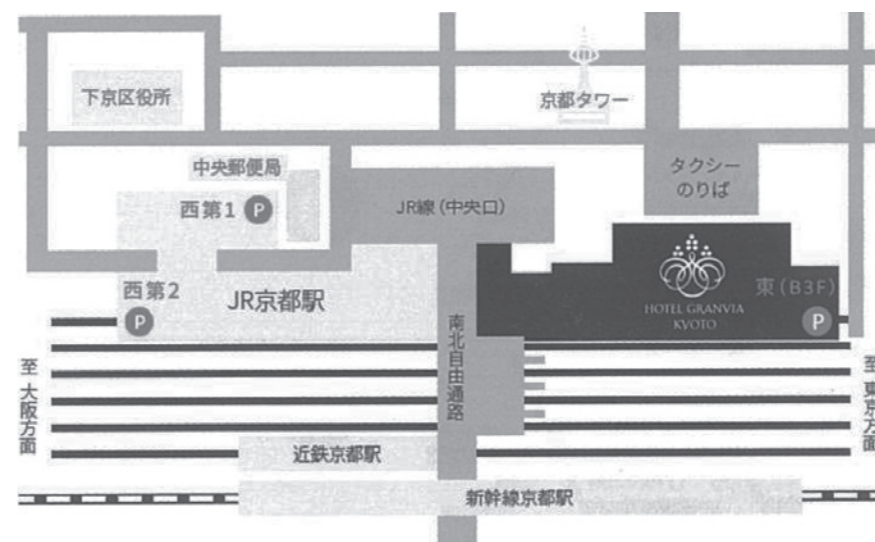
大阪医科薬科大学仁泉会  
理事長 安藤 嗣彦  
令和6年5月1日

日 時：令和6年5月26日(日)  
午後2時40分より評議員会  
午後3時より定期総会  
午後5時より懇親会  
会 場：ホテルグランヴィア京都 5階「古今の間」  
懇親会 3階「源氏の間」

**【お問合せ先】**

大阪医科薬科大学仁泉会事務局  
Tel : 072-682-6166  
Fax : 072-682-6636  
E-mail : info@jinsenkai.net

### ホテルグランヴィア京都ご案内地図



- JR京都駅中央改札口より正面右側エスカレーターを上がり、2階ロビーからお入り下さい。
- お車でのご来場はご遠慮下さい。

# 令和6年評議員会次第

1. 議案
  1. 会務運営について
  2. その他

# 令和6年定期総会次第

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会の辞</li> <li>2. 物故会員に対する黙祷</li> <li>3. 理事長挨拶</li> <li>4. ご来賓挨拶</li> <li>5. 仮議長指名</li> <li>6. 議長選任</li> <li>7. 議事録署名者選出</li> <li>8. 報告事項                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①令和5年度事業報告</li> <li>②令和6年度事業計画について</li> <li>③令和6年度予算について</li> </ol> </li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>9. 議案                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①令和5年度決算承認を求める件<br/>監査報告</li> <li>②その他</li> </ol> </li> <li>10. 集合写真撮影</li> <li>11. 閉会の辞</li> </ol> |
|---|---|

# 令和6年度仁泉会事業計画（案）

## 【公益目的事業】

### 1. 学術振興研究援助事業

学術振興及び研究発展の為に、医学会及び研究会に対して助成を行う。

### 2. 奨学金貸与事業

良医の育成を目的とした、医学部学生に対して奨学金の貸与を行う。

## 【一般事業】

### 3. 仁泉会本部諸事業

#### 1) 大阪医科薬科大学への後援

- ①母校の募金事業活動へ協力し、母校の発展向上に寄与する。
- ②令和6年度医学部卒業生の内、優秀な者に対し、理事会の議を経て、仁泉会理事長賞を授与する。

③学生の諸活動への援助を行う。

④母校の発展向上に寄与する為の支援・協力活動を推進する。

⑤母校執行部、教職員並びに学友会との連携をはかる。

⑥母校の医師国家試験対策事業への援助を行う。

#### 2) 会員の福利厚生への支援

①会員の動向把握を行い、会員慶弔時における福利厚生につとめる。

②会員相互の親睦交流を深める為の活動支援を行う。

#### 3) 仁泉会組織強化に関する事業

- ①支部組織強化の為の活動への支援。
- ②会員で構成される団体への支援。

- ③会費納入の理解協力を求め、納入率向上の為の広報活動を行う。
- ④地区合同懇談会を開催し、組織率向上を目指す。
- ⑤学生会員の加入を促し、母校の発展向上に寄与する。

#### 4) 全国私立医大同窓会との連携

全国私立医大同窓会連絡会に参加し、私立医科大学同窓会相互の連携と情報共有を深め本会の発展向上を図る。

#### 5) 大阪医科薬科大学薬学部及び看護学部同窓会との連携

大阪医科薬科大学薬学部及び看護学部同窓会との情報交換と交流を行う。

#### 6) 広報事業

- ①機関紙「仁泉会ニュース」の定期発行（学術機関誌としての内容充実）。
- ②電子化広報の充実拡充（仁泉会ホームページ及びフェイスブックの更新）。

#### 7) 名簿作成事業

2024年度版名簿を作成発行する。

#### 4. その他法人の目的達成に必要な事業

以上

## 令和6年度基金会計収支予算書(案)

(自令和6年4月1日～至令和7年3月31日)

(単位 円)

	科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
収入の部	<b>1. 基金運用収入</b>	4,330,000	3,000,000	1,330,000	
	①基金利子	450,000	10,000	440,000	基金運用利息
	②返還金	3,880,000	2,990,000	890,000	奨学金返済
	<b>2. 寄 付 金</b>	10,000	10,000	0	
	<b>3. 雑 収 入</b>	10,000	10,000	0	普通預金利息
	当期収入(A)	4,350,000	3,020,000	1,330,000	
	前期繰越額	20,652,021	28,809,005	△ 8,156,984	
	合 計(B)	25,002,021	31,829,005	△ 6,826,984	
支出の部	<b>1. 事 業 費</b>	4,400,000	4,400,000	0	
	①研究助成費	100,000	100,000	0	
	②研究奨励費	100,000	100,000	0	
	③奨 学 費	4,200,000	4,200,000	0	7名
	<b>2. 管 理 費</b>	50,000	50,000	0	
	①雑費	20,000	20,000	0	口座引落手数料
	②租税公課	30,000	30,000	0	
	<b>3. 繰 出 金</b>	1,010,000	6,731,434	△ 5,721,434	他会計振替
	<b>4. 予 備 費</b>	19,542,021	20,647,571	△ 1,105,550	
	当期支出(C)	25,002,021	31,829,005	△ 6,826,984	
収支差額(A)-(C)	△ 20,652,021	△ 28,809,005	8,156,984		
	次期繰越(B)-(C)	—	—	—	

令和6年度一般会計収支予算書(案)

(自令和6年4月1日～至令和7年3月31日)

(単位 円)

	科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
収入の部	1.入会金	1,000,000	2,000,000	△1,000,000	
	2.会費	25,000,000	25,000,000	0	
	3.学生会費	1,800,000	1,800,000	0	
	4.寄付金	10,000	10,000	0	
	5.雑収入	4,000,000	1,500,000	2,500,000	広告/預金利息他
	6.繰入金	1,010,000	1,010,000	0	
	当期収入(A)	32,820,000	31,320,000	1,500,000	
	前期繰越額	32,000,000	30,295,002	1,704,998	
	合計(B)	64,820,000	61,615,002	3,204,998	
支出の部	<b>1.事業費</b>	26,200,000	17,000,000	9,200,000	
	①会報費	10,000,000	10,000,000	0	会報誌発行/発送
	②学術費	1,800,000	1,400,000	400,000	9学会支援
	③学生後援費	1,000,000	1,000,000	0	西医体/学園祭支援等
	④記念事業費	200,000	200,000	0	
	⑤福利厚生費	100,000	100,000	0	
	⑥慶弔費	800,000	800,000	0	供花料/生花代
	⑦国家試験対策費	300,000	500,000	△200,000	既卒者支援
	⑧名簿製作費	12,000,000	3,000,000	9,000,000	名簿制作
	<b>2.管理費</b>	17,351,000	16,801,000	550,000	総会/理事会他
	①会議費	1,500,000	1,000,000	500,000	
	②給料手当	7,000,000	7,000,000	0	事務員3名
	③旅費	1,000,000	1,000,000	0	理事会出席
	④通信費	700,000	500,000	200,000	切手・電話・電報料
	⑤備品費	150,000	200,000	△50,000	減価償却
	⑥消耗品費	300,000	400,000	△100,000	事務用品他
	⑦会費徴収費	700,000	700,000	0	会費払込手数料負担
	⑧社会保険料	900,000	900,000	0	労災/社会保険料
	⑨交際費	500,000	500,000	0	支部会賛助金他
	⑩諸謝料	1,200,000	1,200,000	0	税理士・弁護士顧問料
	⑪雑費	600,000	600,000	0	コピー代他
	⑫事務局費	600,000	600,000	0	事務室賃借料
	⑬租税公課	1,200,000	1,200,000	0	消費税他
	⑭積立金	1,001,000	1,001,000	0	周年事業費積立他
	⑮退職金	—	—	—	
	<b>3.予備費</b>	21,269,000	27,814,002	△6,545,002	
	当期支出(C)	64,820,000	61,615,002	3,204,998	
	収支差額(A)-(C)	△32,000,000	△30,295,002	△1,704,998	
	次期繰越(B)-(C)	—	—	—	

(注) 1. 借入金限度額 0円  
2. 債務負担額 0円

# 祝・卒業

## 令和5年度 卒業証書・学位記授与式

今年の卒業式・学位記授与式は令和6年3月7日(木)に高槻城公園芸術文化劇場トリシマホールにて行われ、学部73期生111名がご卒業されました。

本年の仁泉会理事長賞は山口花奈さんが受賞されました。

佐野浩一学長の当日の式辞と安藤理事長からの祝辞を掲載いたします。

### 令和5年度 大阪医科薬科大学 学部卒業式 式辞

#### 大阪医科薬科大学学長 佐野浩一

草木萌動春

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。それぞれ一世紀前後の歴史と伝統のある大阪医科大学と大阪薬科大学に入学し、りっぱに成長された皆さんを大学統合の下、至誠仁術を学とする大阪医科薬科大学の卒業生として、本日ここに送り出すことを誇らしくまた光栄に思います。

さて、皆さんは大学統合という本学の歴史的出来事に立合い、その先進的出来事の証人となりました。他方、医学部生と薬学部生は、2018年には大阪府北部地震に被災され、また、三学部の皆さんの在学期間の半分あるいはそれ以上、忽然と現れた新型コロナウイルスが猖獗する中、緊急事態宣言や蔓延等防止措置の下で制限された学生生活を送られ、大変な苦勞をされましたが、医学部薬学部看護学部三学部の卒業生にはその苦勞から多くの事柄を学び採られたことと思います。

本年元日には、能登半島地震の報を受け、感染症を含む自然災害を改めて強く意識したところです。また、海外で起こっている戦争や紛争そして東アジアの緊張など平和を脅かす出来事にも意識を向けなければなりません。皆さんが旅立つ社会にはそのような出来事が多いのは事実です。

しかしながら、本学の歴史を遡りますと、日本の首都を



襲った関東大震災(1923年)、世界大恐慌(1929年～1931年)、室戸台風による大風水害(1934年)、太平洋戦争の勃発と敗戦(1945年)、オイルショック(1973年～1983年)、バブル崩壊(1991～1993年)、阪神・淡路大震災(1995年)、リーマン・ショック(2008年～2010年)など先人たちは幾多の苦難を乗り越えてきました。

もちろん、禍福は糾える縄の如しで、戦後の高度成長やバブルなど経済的に豊かなこともありました。何よりも戦後八十年に及ぶ戦禍のない平和な時代を過ごすことができたことは、先人たちが考え、工夫し、努力した賜であり、私たちは、今先人たちが創造した平和な社会で生きることができることに感謝しなければなりません。

皆さんには、様々な出来事に対応し、考え工夫し、努力して平和な社会を築き、そして、私たちが先人に感謝しているように、後世の人々から感謝されるように明日から社会で活躍頂きたいと思っております。

ところで、最近、VUCA (Volatility、Uncertainty、Complexity、Ambiguity)の時代に入ったと言われていますが、そもそもこの世はVUCA社会であり、今に始まったことではありません。私たち人類が確実に安定した単純な社会に暮らしてきたと考えるなら、それは、大きな認識不足で私たちは常に変動し、不確実で複雑で曖昧な社会に暮らしています。ただ、IT化や価値観の多様化などによって、変化のスピードが加速され、VUCAをより強く感じられることは事実です。

皆さんにはそのような不確実で曖昧な将来に不安を感じることもあるかもしれません。人が不安や戸惑いを感じるとき、その人は自分の立ち位置を見失っています。世の中がどれほど変化し、将来を見通すことが困難でも自分は毅然として仲間ととも今ここに生きているのです。自らの存在と位置付けを把握できれば皆さんが解決すべき課題が明らかになり不要な戸惑いは解消されます。

そして、自らの存在と位置付けを意識することができれば、将来が不確実で曖昧であればあるほど、皆さんの考えや工夫の自由度は増し、その自由度を活かすことによってすばらしい未来を創造することができるのです。

皆さんがより自由に発想し、未来を創造するとき、ひとつ忘れないで欲しいことがあります。それは、「恕」です。論語にこうあります。孔子の弟子である子貢が問います「一言を以て終身之を行ふべきは有るか」。孔子が答えます「其れ恕か」と。「恕」というのは、学是「至誠仁術」の「仁」

の現れとも言われ、「他を思いやる」ことです。みなさんの学生生活において教員や職員は、恕をもって時には優しく時には厳しく皆さんに接してきたことを思い出して下さい。これからの皆さんは医療の現場でも、この「恕」や「仁」を欠くことはできず、また、患者さんやご家族更には、ともに生きる人々を思いやる心をもって接して頂きたいと思えます。そして大阪医科薬科大学の卒業生として、学是「至誠仁術」を心に刻み「恕」をもって、後世の人々から感謝されるような未来を創造していただきたくお願いいたします。

結びとして、卒業生の皆さん、御来賓はじめ御参会の皆様御健康と御多幸をそして卒業生の皆さんが輝かしい未来を創造して下さいますよう祈念して式辞といたします。

令和六年三月七日



## 祝辞

### 一般社団法人 大阪医科薬科大学仁泉会 理事長 安藤嗣彦

この度、石川県能登地方の大地震によって、被害を受けた方々に心よりお見舞い申し上げます。

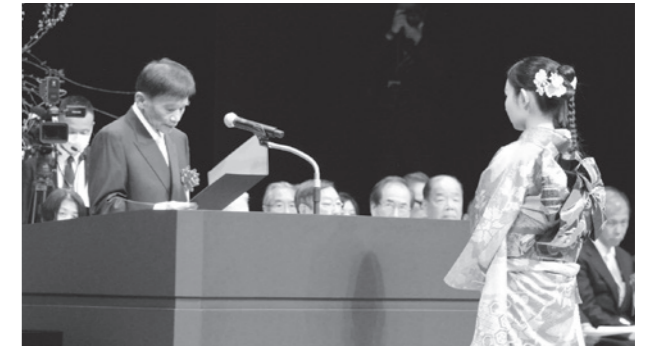
関連地域の仁泉会会員の被害状況は幸いも軽微で、数名の先生には飲料水やお見舞いを送らせていただきました。

阪神・淡路大地震で我々も大変な思いを経験しましたが、医療に携わる私たちはいつでも対応できる体制と心構えを持つ事がいかに大切かを実感させられました。

医学部卒業生の諸君は本日から、一般社団法人大阪医科薬科大学仁泉会の正式（学生会員より変更）な会員となり、仁泉会名簿に記載されます会員であります。本法人は1927年創立の大阪高等医学専門学校及び大阪医科大学卒業生で構成され、医学部73期生111名を新たに加えると総数は累計1万人を越え、改めて母校と仁泉会の歴史を認識させられました。現在も各地で活躍されている皆さんの先輩は5,500名を数えます。

本学は医学部、看護学部薬学部が加わる事により新たな医療系総合大学として船出し、諸君は大阪医科大学からは第73期生の大阪医科薬科大学としては3期生として卒業されました。

皆様は、前期、後期の研修制度に基づき、医師としての厳しい修練が始まっておられる事でしょう。本学以外の他大学や研修病院で研修される卒業生は、再び本学での診療や研究に携わる機会も多くありません。しかしながら本学か否かを問わず、この6年間大阪医科薬科大学で学び親交を深めた同級生や教職員の方々との思い出はいつまでも忘れずに充実した日々をお過ごしください。この学生時代の思い出こそが、母校愛を育む最も大きな要素です。



大阪医科薬科大学の学歌には医学薬学相携へて、病む人にこそ「耳傾けよ」「ともにあるべし」「やさしく包め」と謳われています。至誠仁術の建学の精神をかみしめ立派な医師として病める人に貢献されることを期待します。

仁泉会は、学生諸君への事業として奨学金貸与事業以外にも、学園祭、西医体への援助、優秀な卒業生への仁泉会理事長賞、仁泉会報の発送や学生生活のセミナー等の事業を行っていますが、卒業後も4年に1度の名簿の作成発送、会員主催の学会への援助、事業は全て会員の年会費で運営されています。また、母校で研修を希望され、学業成績が優秀であった方に仁泉会理事長賞を贈呈することになってはいますが、本年は山口花奈さんにお贈りさせていただきましたのでご報告申し上げます。

これらの事業は他の同様の私立医科大学の同窓会からも絶賛されています。諸君達には卒業後はこの事業の継続に協力をいただくよう切にお願いいたします。

最後に、卒業の諸君の前途を祝福いたすと共にご家族、教職員の皆様のご多幸を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。



# 学会報告

## 日本医療・病院管理学会 第422回例会を終えて

文責／大阪医科薬科大学病院  
医療総合管理部 QI 管理室  
室長・教授 上田英一郎（学40期）

この度は日本医療・病院管理学会第422回例会開催にあたり、仁泉会様から助成を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまでもちまして、現地開催ならびにWEB配信を盛会裡に終了することができましたこと、厚く御礼申し上げます。

日本医療・病院管理学会は、1963年（昭和38年）の設立以来、わが国の病院医療のみならず国民の保健・医療・福祉全般にわたる学術活動を展開して参りました。1992年（平成4年）より学術総会長とは別に理事長制度を導入して、学会活動の継続の強化を図りました。2009年（平成21年）1月からは非営利の一般社団法人として活動しています。また、2008年（平成20年）1月からは、それまでの日本病院管理学会の名称を改め、日本医療・病院管理学会として新たなスター

トをきりました。日本医療・病院管理学会は、保健・医療・福祉分野における諸問題を多面的に考究し、社会の進歩と人類の福利に貢献することを使命とし、医学やマネジメント・サイエンスなどを中心とする広範な学問体系を集学的に応用し、関連領域の専門性と価値観を相互に理解するとともに、理論と実践の両面から保健・医療・福祉のあり方を追求します。本学会は、根拠に基づいた実証的で論理的かつ合理的な研究を推進し、保健・医療・福祉サービスの利用者の視点を重視することを理念とします。現会員数は約1350名ほどです。小職は、学会の評議員として活動しており、本学会選出の社会医学系専門医研修プログラム委員、例会の開催等を通して学会活動を支えています。

### 日本医療・病院管理学会第422回例会を終えて

日本医療・病院管理学会第422回例会は、2024年2月17日（土）に大阪医科薬科大学歴史資料館3階講義室とウェビナーによるハイブリッドにて開催いたしました。

例会当日は、2月初旬の寒さから一転、好天にも恵まれ、春の陽気を思わせる中の開催となりました。

小職が演者を兼ねてシンポジウムでは座長を務め、他の演者の先生方には、現地にお越しいただいた先生や、出張中にも関わらずリモートでご参加いただくなど、大変

感謝しております。

例会の参加者は、現地参加者とWEB参加の計54名となり、後日、オンデマンド配信も考慮しております。参加者の内訳は、医師、看護師、診療情報管理士、事務職等、多職種にわたり参加をいただきました。なお、本例会に参加いただいた方には、参加証として、日本医師会生涯教育制度単位、日本医業経営コンサルタント協会継続研修認定、日本薬剤師研修センター研修認定制度、社会医学系専門医制度K単位2単位が申請可能となっております。

本学で日本医療・病院管理学会の例会を開催するのは、2019年10月19日開催の「臨床研修指定病院制度の今後の展望～都道府県移管を踏まえて～」と、2022年9月3日開催の「地域包括ケアにおける大学病院を含めた急性期病院の現状と課題～どのようにして急性期病院関係者に地域包括ケアへの理解を深めていくか～」に続き3回目となりました。

今回のテーマは、「データから支える医療の質向上に向けた取り組み」とし、小職を含め、4名の講師が、各パートを分担して発表するといったスタイルをとりました。

昨今、医療の質向上のための体制整備が強く叫ばれており、医療の質の評価の公表・取り組みを行う流れ

が増えている中、データ抽出の負担や、質指標や定義のばらつきがあるのも課題となっています。本会においては、まずは各病院にとっての基幹システムである電子カルテデータを可視化するメリットを論じ、また可視化するためにデータ抽出の役割としてのDWH（データウェアハウス）を用いて業務効率化を図る意義を紹介しました。データの抽出、可視化、解析をサイクリックに回していく事で、医療の質向上が実現していく姿を理解していくことを目指しております。



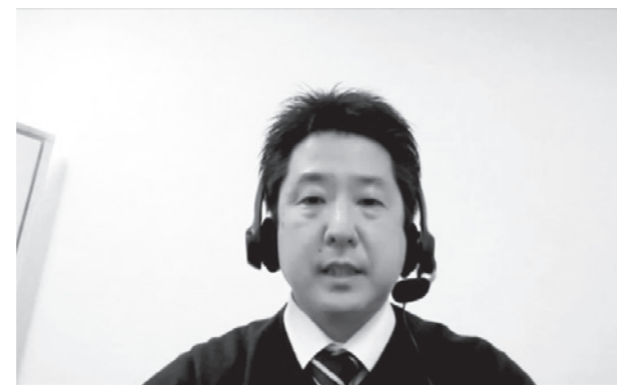
総合討論の様子

シンポジウムは、「データから支える医療の質向上に向けた取り組み」となっており、4名のシンポジストが、それぞれ（1）電子カルテデータを可視化する、（2）業務効率化のための戦略、（3）情報を院内で共有することによるメリット、（4）データを解析することによる医療の質向上というタイトルで講演し、最後に総合討論をおこないました。総合討論では、現状の電子カルテシステムでは十分に電子カルテのメリットを活かしきれていない現状と、その解決策について活発な討論が交わされました。特に、病院勤務の診療情報管理士が、医療機関における患者の様々な診療情報を中心に国際統計分類等に基づいて収集・管理、データベースを抽出・加工・分析し、情報を提供する専門職種であることから、これからのDX推進において活躍が期待されていました。また、電子カルテデータの検索・抽出に至るまでのプロセスに多くの時間や手間を要していることから、データウェアハウスを用いることにより、ワンストップでデータ抽出時間を削減し、その後の分析に注力すれば、医師の働き方改革に即した業務の効率化も達成できることを示されていました。

今回、例会の開催にあたり、本学の医療総合管理部QI管理室および診療情報管理室のスタッフ、演者である医用工学研究所の講師陣との綿密な打ち合わせ、開催の準備から、ポスター作成、参加者登録、当日の会場設営、例会運営等、多岐にわたり協力いただいたことを大変感謝いたします。



例会ポスター



大阪医科薬科大学病院 診療情報管理室課長 松本吉史氏



医用工学研究所営業部ソリューション提案課課長 橋本真吾氏



医用工学研究所代表取締役社長 北岡義国氏



大阪医科薬科大学病院 医療総合管理部 QI 管理室室長・教授 上田英一郎

## 支部長交代のお知らせ

### <香川県支部長>

前支部長 石田達也先生 (学28期)



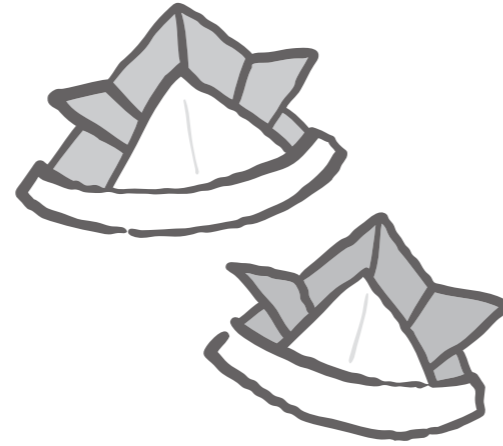
新支部長 大谷昌裕先生 (学40期)

### <大阪市北区支部長>

前支部長 末澤慶昭先生 (学19期)



新支部長 太田祥彦先生 (学38期)



## 支部会・クラス会開催にあたって

支部会・クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にてお手伝いさせていただきます。お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636  
e-mail / jimujinsenkai.net

## 受賞・受章の際は編集部にお知らせください

各地での喜びの受賞・受章等がございましたら、事務局あてに書面、新聞などをお送り下さい。FAX、メールでのお知らせも歓迎いたします。本誌にて広く紹介させていただきます。 編集係

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636  
e-mail / jimujinsenkai.net

## 支部だより

### 仁泉会河内長野支部交流会報告

文責 / 櫻井幹士 (学45期)

短い桜の季節が終わってしまった今日このごろ、皆様いかがおすごでしょうか。

去る1月20日、仁泉会河内長野支部交流会を河内長野の老舗料亭「喜一」にて開催いたしました。

平成28年に学22期の村田貞史先生のご発声により活動を再開した仁泉会河内長野支部ですが、令和元年に集まって以来コロナ禍でしばし休会状態にありました。

まだコロナ禍が収束したとは言えない状況ではありますが、支部長である学44期の追矢秀人先生のお声かけで久々に顔を合わせる事ができました。

今回は、村田貞史先生、学26期濱田 宏先生、学28期齊藤 治先生、学44期田中啓子先生、金村昌徳先生、追矢秀人先生、そして私、学45期櫻井幹士の計7名での会となりました。

コロナ禍での苦労話や日常診療における工夫など、尽きることのない話題で会はとても盛り上がり大変楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

本学から離れた田舎町ですがこれからも力を合わせて地域医療に貢献してまいりたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



# 支部だより ●●●

## 第50回 仁泉会奈良県支部 総会・懇親会 開催報告

文責／尾崎誠重（学43期）

季節外れの暖かい日々から一転、また木枯らしの吹く寒空に季節が逆戻りした雛の節句、奈良県支部の先生方にはお馴染みの奈良公園畔『春日ホテル』にて、第50回仁泉会奈良県支部総会・懇親会が開催されました。

コロナ禍にて2年にわたり開催を見送り、昨年より再開したこの会ですが、今回は28名の先生方の参加を得ての開催となりました。2020年1月に始まった未知のウイルス感染症は、我々人間社会の様々なつながりを大きく分断しました。『人と会う』とか、『皆で集まる』など、我々の自然な生活慣習が『避けるべきこと』とされたこの3年のうちに、いつしか『人間関係の希薄化』が進み、ほかの多くの会の例に漏れず本会も参加される先生が少なくなり、広い会場に幾許かの寂しさを感じました。

総会では、今後より多くの先生方の出席を得て会員の相互の親睦を深めるため、総会・懇親会と県支部運営のあり方について、山下県支部長のもと慣例に囚われない活発な議論がなされ、以下の点につき了承が得られました。

- 1 年会費を減額し、慶弔支出を廃止する
- 2 活動実態のある会員に総会・懇親会の開催曜日／時間帯の希望をアンケート調査する（これまで日曜・夕方開催であったところ、土曜・夕方の開催希望が7割超の調査結果であったため、次回から土曜・夕方の開催となりました）
- 3 3年以上連絡がつかず、会費納入がない等、活動実態のない会員については経費節減等を考慮し、名簿整理のうえ県支部からの連絡を差し控える

総会后、本学の学39期 奈良県立医科大学消化器内科准教授の赤羽先生に学術講演をお願いしました。講演では先生のご専門である『肝臓』について、肝疾患の早期発見・早期治療を目的に昨年発表された「奈良宣言2023」についてと、これまで NAFLD（非アルコール性脂肪性肝疾患）と呼ばれていたものが MASLD に、

NASH（非アルコール性脂肪肝炎）と呼ばれていたものが MASH に名称変更されたという話から、肝硬変のみでなく脂肪肝からでも肝発癌すること、糖尿病との合併で線維化がより進みやすいこと、専門科への紹介は血小板数20万未満・FIB-4 index 1.3 以上などが目安になることなど、1時間弱にわたりご講演頂きました。尚、先生はこの春から宇陀市立病院 病院長に栄転されるとのことでした。

ご講演のあと、皆で記念撮影を行い、懇親会に移りました。出席会員の中のご長老 学8期の枘岡先生に乾杯のご挨拶を頂戴し、程なくあちこちで近況を確かめ合い、新入会の先生方とも親睦を深めることが出来ました。

散会前には毎年恒例の学歌斉唱、スマートフォンで仁泉会ホームページにアップされている音源をマイクで拾い、歌詞カードをみながら『暁映ゆる…』を斉唱して高槻の母校に思いを馳せました（新しく制定された学歌には皆馴染めず、今年も旧学歌が流れました）。

例年、散会時にお渡しする記念撮影の集合写真が、依頼した写真店から待てど暮らせど届かず、店に連絡もつかない状態で、後日郵送という歯切れの悪い散会となりましたが、普段なかなかお会いする機会のないご高齢の先生方のお元気なお姿を確認、いや失礼、拜見でき、楽しい懇親会となりました。



第50回 仁泉会 奈良県支部総会 2024年3月3日 於 春日ホテル

上段左より 宮崎(貞)、宮崎(眞)、錦織、権、松尾、尾崎、阿部、石崎(英)、河原、古家  
中段左より 辻口、大川、山田、久保、坂口、奥田、中尾、橋本、森本  
下段左より 石崎(雅)、紀川、山下、赤羽、花本、枘岡、杉原、北浦 (敬称略)





# 支部だより ●●●

## 令和6年 大阪医大仁泉会高知県支部 総会・新年会報告

文責／市原直子（学24期）

日時：令和1月20日（土）午後6時半  
場所：希満里

令和2年2月1日の総会・新年会を最後にコロナ禍に突入。昨年5月にコロナが5類になり仁泉会高知県支部も3年ぶりにやっと今年総会・新年会開催に踏み切りました。懐かしい同門の先生方にお目にかかれると楽しみでしたが、ふたを開けると出席者はわずか9名。今までにない少なさでした。それでも定刻ちょっと過ぎに厳かに会長の濱脇弘暉先生のご挨拶（体調を崩され会は欠席でしたが、きちんと新年のご挨拶文をしたためられ、枝重先生が代読しました）に始まり、そしてこの3年間に亡くなられた五名の先生方、武井廉平先生、澤田久先生、山脇忠昭先生、今橋経任先生、疋田善平先生に哀悼

### 仁泉会高知支部総会 2024年1月20日



前列右から 疋田隆雄先生（第24期）、土居秀策先生（第22期）、近森正幸先生（第21期）、市原直子先生（第24期）、  
後列右から 川田誠一先生（第34期）、前田隆先生（第30期）、町田崇博先生（第56期）、刈谷隆明先生（第22期）、枝重恭一先生（第26期）

の意を表して1分間の黙祷。大切な先輩の先生方にお目にかかれぬまま久々の総会を迎えたのでした。寂しい限りです。でも、沈んでばかりではられません。医療従事者であり、コロナの心配はありますが、それでも3年振りに9名（ほとんどが高齢者）がコロナにも負けず、元気に集って新年会を迎えられたことに感謝し、「乾杯!!」「乾杯!!」と宴が始まりました。

私 「先生、ちっとも変わりませぬね」

土居先生 「腰椎の手術で入院してたけどやっと歩けるようになった。でも、結局閉院だね。六月には北海道の息子のところに移住や」

私 「十分に地域医療に貢献されたのでもう十分です。先生、いなくなると仁泉会、さびしいなあー。でも北海道はいいですね」

近森先生 「医師の働き方改革で時間外の救急を受け入れられなくなった病院があり、近森に重症でない患者が土日祭日時間外にたくさん来院して大変だ」

などなど、話題はプライベートから昨今の医療問題と会えなかった3年間の思いが堰をきって大盛り上がり。でも学56期の町田先生以外、みな65歳以上。私を含む4人が今年後期高齢者です。個人的には土居先生のように

# クラス会だより

## 学11期 三三会報告

文責／田中陽（学11期）

令和2年10月17日18日大山ロイヤルホテルで開催。福森秀雄（奥様清子）笠原春生 辰見宣夫 田中陽。翌日大山平原ゴルフクラブにて福森ご夫妻 辰見 田中陽 で行いました。



10/17（土）左より 田中陽、笠原春生、辰見宣夫、福森秀雄（敬称略）



10/18（日）左より 田中陽、福森清子、辰見宣夫、福森秀雄（敬称略）

に店じまいも視野に入り、仁泉会高知県支部の将来もふと不安になってきました。30年、20年を思い出すと本当に隔世の感です。いつでも20人前後の先生が集まり、名物先生が大勢いて話題に事欠かずほんとうに楽しい会でした。今橋先生、山脇先生、澤田先生、武井先生、奥村先生、三宅先生の声が部屋のここそこから聞こえてきそうです。「君らが頑張らんと」と。最近が高知県から大阪医大への入学はほとんどありません。関西の大票田地区からみれば、「高知県支部なんてあったかいな」と思われるほど小さな支部です。そんな消滅の危機を感じながらも、店じまいしても少し大げさですが生きている限り支部会にはみんな出席し続けたいと思います。来年は10人以上の出席で賑わいのある新年会になることを誓い無事お開きとなりました。

出席者：（敬称略）

近森正幸（第21期）、刈谷隆明（第22期）、土居秀策（第22期）、疋田隆雄（第24期）、市原直子（第24期）、枝重恭一（第26期）、前田隆（第30期）、川田誠一（第34期）、町田崇博（第56期）

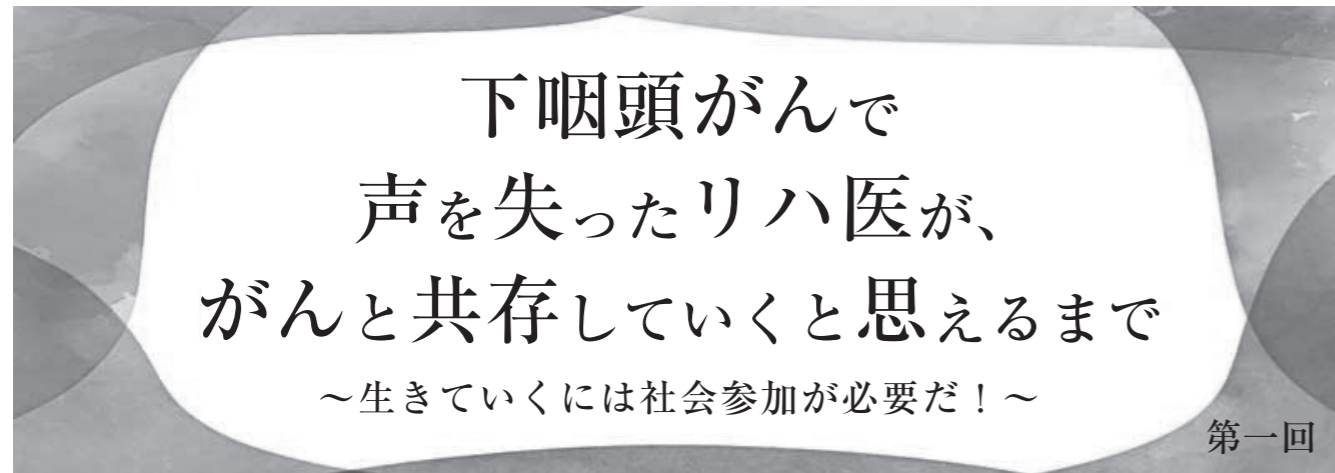
### 会長の濱脇弘暉先生のご挨拶

(1) 令和6年1月1日 pm4:10のM7.6の能登半島地震にはショックを受けました。数ある観光地の中でも私のお気に入り過去に2回訪れていて家族も大好きな地域です。文化的で歴史的にも素晴らしく、美しさに加えグルメ天国、人情豊かな地域に一体神様は何をなさるのでしょうか？情報が未完成の時点でも、未曾有の大災害であるのは間違いないでしょう。

(2) 次に私の個人的な経緯に触れます。コロナの時期は高知県産婦人科医会会長でしたので一応の活躍はしたつもりでしたし、高知県産婦人科医会の新しい執行部も決めていましたので、後はのんびりと好きなお酒を友に余生をと思っていました。しかし心内膜炎を指摘されるなど、後は坂道を転げるように病が押し寄せてきました。何となく不調、近森病院や細木病院に入院療養をさせて頂きましたが、その内に徐々に左足が動かなくなってきてまして今や寝たきり老人です。難病？でしょうか。リハビリで少しは動かせはしますが、車いすが手放せなくなりました。

かくなる以上は、車いすで「かんざし」に行ってお酒を飲むしか楽しみがありません。皆様方、お待ちしておりますね。

令和6年 新春 第11期 濱脇弘暉



文責／太田利夫（学31期） 掲載：メディカ LIBRARY from メディカ出版 <https://ml.medica.co.jp/series/rihai>

## #001：まさか自分が

### 健康な医師としての暮らし

1982年に整形外科医になり、いろいろな病院で勤務し、多くの手術を経験しました。

縁あって1989年から脳神経外科病院に勤務するようになりまして。そこでは、もっぱら整形外科専門医として、整形外科の急性期（おもに外傷）と疾病の手術を行っていました。

あるとき、治療後に「あとはリハビリで」という発言に違和感を持ちました。治療とは、手術で命を救う、障害を減らすのみでない。その人に全人的にかかわることであるということに気付いたのです。かねてから、リハビリテーションは再生医療であると思っていた私は、障害を持った機能を取り戻すだけではいけない、社会的に活動・参加するまでを一緒に歩んでいくことが必要であると再認識しました。

その後、リハビリテーション科専門医となり、回復期リハビリテーション病院の院長として従事するようになりました。対外的には関連団体（日本リハビリテーション病院・施設協会、回復期リハビリテーション病棟協会）の理事に就任し、病院の知名度も上がってきた状況で、名実ともに日本一の病院を目指していました。順風満帆の人生を送っていたはずだったのです。ところが……。

## がんの発見

「最近ものを飲み込むときに、のどの左側が痛いのですが検査時に見てもらえますか?」。この一言がすべての始まりでした。

9年前、2015年5月、毎年受けている職員検診の成人病検査である胃カメラ。そのときに気になっていたことを担当医に言った言葉が、人生を大きく変えることになりました。

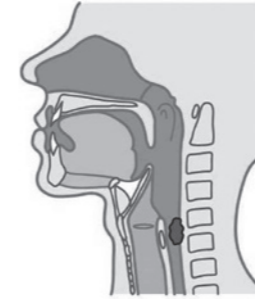
結果は、“下咽頭がん”。すぐに造影 CT、PET 検査をしたところ、幸いなことにほかの臓器への転移はなく、ステージ1でした。放射線治療を勧められて承諾しました。58歳、働き盛りでがんになったのです。娘は東京でバレエの劇団員として活躍していました。また、ちょうど大学受験を控えた息子がいて、ここで倒れるわけにはいけませんでした。

ところが私というと、症状はほとんどなく、がんになったということがあまり現実として感じませんでした。恥ずかしいことに、治療をすればよくなるだろうくらいの認識でした。

とはいうものも、落ち込んで、焦っていたのかもしれませんが。“家族に聞いてみないと”。医者のかせに詳しく調べもせずに治療方法を決定したのです。今から考えると拙速だったかとも思います。

## 下咽頭、下咽頭がんとは

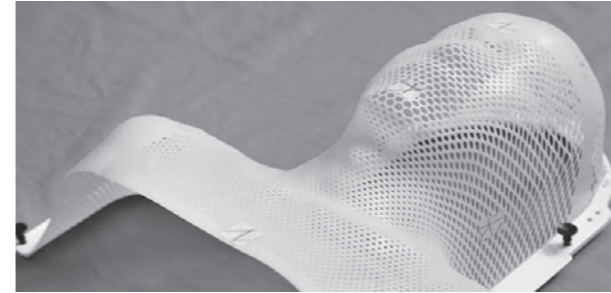
咽頭は鼻の奥から食道までつながる約13cmの管で、空気と飲食物が通る部位。筋肉と粘膜できている。咽頭は上からそれぞれ、上咽頭、中咽頭、下咽頭の3つの部位に分かれている。下咽頭は咽頭の最も下の部分で、食道と中咽頭および気管とつながる喉頭に隣接しており、飲食物の通り道になっている。ここに発生したがんが下咽頭がんである。



## #002：放射線治療と体調不良

### 苦痛だった放射線治療

その年の8月から、毎週月曜日から金曜日まで合計30回、放射線治療を行いました。的確に放射線を当てるため、デスマスクのような殻をかぶせられ、頭と胸を固定されての治療は苦痛以外の何物でもありませんでした。



## このときの妻の気持ち

“がん”という言葉に、恐怖と不安を感じました。しかし、診断が出てから、治療開始まで幸いにも段取り良く進めてもらったことで、不安を軽減できました。

不十分ながらも院長として仕事は続けていましたが、放射線の副作用で次第に体力は低下。車での通勤は危ないということで（病院への道は山道で、狭いわりにけっこう交通量が多い）、タクシーで通勤するようになりました。

## 次第に悪化する体調

年末ごろからは食事中にもせることが多くなり、固形物が食べにくくなりました。さらに日が経つごとに声が枯れ、物を飲み込みにくくなり、ついには食事が摂れなくなりました。点滴で何とか栄養を補充していましたが、日常生活も困難になるようになってしまいました。

## 下咽頭がんの特徴

- ・近年増加しており、喫煙や飲酒がリスクファクター
- ・腫瘍のタイプはほとんどが扁平上皮がん、ほかの組織型はまれ
- ・50～70歳代に好発し、男女比は2～4：1
- ・予後は頭頸部悪性腫瘍のなかでも悪く、5年生存率は30～40%
- ・下咽頭はリンパ網に富んでいるため、早期に頸部リンパ節への転移が出現
- ・進行した状態で発見されることが多い（約70%以上）

働き盛りの男性に多いんです！

翌年の5月ごろには呼吸苦が出現するようになりました。そして5月中旬に息もできなくなり、緊急入院。声帯浮腫のための呼吸困難と判断され、気管内挿管と気管切開術を受けました。その後、39度を超える高熱が続き、血液所見でも炎症反応が高値を示しました。

何が起こったのでしょうか？ そのときの私の食道には穴があき、周りに病原菌が広がってしまったのです。さらに MRI 画像では頸椎に異常を認め、化膿性椎間板・椎体炎になっていました。このとき私は、病原菌が血液にのって全身に廻る、敗血症という状態になっていたのです。

## 妻が究極の決断を迫られる事態に

7月になると、耳鼻科はもちろん、形成外科・消化器外科・整形外科のチームが組まれました。手術予定日は7月25日。この日を逃すと8月中ごろまで延期になります。私の病状は次第に悪化していましたが、手術予定日の3日前から抗生剤を使って様子を見て、当日の朝に手術決定を判断するとの説明がありました。

当日の朝、血液の CRP（炎症所見）は依然として高値でしたが、「8月だと手術できるかどうかもわからないです。どうしますか?」と妻は主治医に聞かれたそうです。というのも、私は高熱と敗血症のために意識朦朧としていて、まったく判断能力がない状態でしたから。

何もせずにいれば体調は悪化し、衰弱して死亡する。しかし、手術にもかなりの危険があり、術後の合併症も起こりうる。妻は究極の決断を迫られました。私の運命は、妻の胸先三寸にかかっていたのです。

～ 続きます ～

## 仁泉ひろば

jinsen-park

## 巻貝の左巻き

文責／岡野 准（学部 21 期）

巻貝とは軟体動物の腹足類を指し、腹足綱の多くは螺旋状に巻いた殻を持っていますが、アワビや常節（とこぶし）も耳貝科という巻貝の一種ですし、カサガイの様に笠状になったものや、アメフラシ・ウミウシ・ナメクジ類等の殻が退化したものも有り、これらも巻貝の仲間とされています。これに対し同じ軟体動物の頭足類ではオウムガイやアンモナイトあるいはトグロコウイカ等が螺旋状の貝殻を持ち、タコ類の一部にメスが産卵用に殻を形成していますが、それらは蛸や烏賊の仲間（頭足類）であって巻貝とは呼びません。

大半の動物は左右対称か点対称ですが、巻貝は螺旋状の形態をしています。巻く方向は種によって決まっています、9割の種はなぜだか右巻きです。また少ない左巻きの種の大半は陸生や淡水性です。カタツムリは陸生で、多くは右巻きですが一部は左巻きで、左右両巻の種も存在します。また、左右両巻きの種では内臓の配置も左右逆になっています。巻貝の巻く方向は遺伝的に決定され、左右両巻きの種は発生段階から決まっているというのが通説ですが、そうではないという示唆もあります。巻きの方向を表す語として、Z撚り・S撚り、Z巻き・S巻き、右手・左手、右ねじ・左ねじ等があります。Z撚り・S撚り或いはZ巻き・S巻きというのはアルファベットの文字の形にちなみ、文字Z、Sの斜めの部分の違いに習い、Zの右上から左下に向かう部分の向きが一致する巻き方をZ巻きと呼び、S巻きは同様に左上から右下に向かう方向と一致する巻き方をS巻きと呼んでいます。この呼び方は主にロープやケーブル、ワイヤー等で使われています。螺旋の上下を180度回しても、糸やロープ等の撚り方は同じです。

巻貝の場合は、とがった部分を上に向けて、上から出口の向きを判断します。中心から外側に向かう方向が時計回りの時を右巻き、と呼ぶ習慣になっていて、横から眺めると、Z巻きです。巻貝の多くは右巻きであると言われています。他の判定法として、巻貝の頂点を上に置き横から眺めて、穴が見える位置に置いた時、それが右なら右巻き、左なら左巻きとするというものです。要

するに、頂点の部分が中心で身が出てくる方向が時計回転しているのが右巻き、反時計回転していれば左巻きです。

どこを中心として、どの方向から見ているのかを指定しないと右巻き・左巻きを決定できません。ところで螺という漢字は「ら・つぶ・つび・にし・にな」等と読み、巻いたものを表していますが、螺子（ねじ）、螺髪（らほつ）、螺鈿（らでん）等以外は田螺（たにし）・川螺（かわにな）・海螺（うみにな）法螺貝（ほらがい）・榮螺（さざえ）・螺（つぶ）・赤螺（あかにし）・長螺（ながにし）等の様に巻貝の名前に使われています。カワニナ・ウミニナの様に長細い巻貝は螺と書いてもニナと、田螺の様にもう少し丸く粒っぽい貝は螺と書いてニシと読まれています。

台風・ハリケーンは北半球では左巻き回転で南半球では右巻き回転をしています。これは地球の自転と関係していてコリオリの力によるものと考えられています。コリオリの力は巻貝の巻きとは関係無い様で、巻貝の大半が右巻きでその理由はよく分からないので、つまり左巻きの貝が有る理由もよく分からないことになります。

DNAの2本の鎖は、らせん構造を形成し、Z巻きつまり右巻きの二重螺旋で、らせんに沿って辿っていくと、右に曲がりながら進んでいきます。つる植物の巻きつき方については、長く論争されていますがあまりはっきりしていません。蔓巻き植物の巻き方は、以前は主観的表現が主流でしたが、現在では客観的表現にはほぼ統一されている様です。「観察者は動かない」という原則を守り対象を見れば、巻き方向の判断はぶれないとされ、支持木に巻きついている「つる」を外から見て、右方に向いていれば右巻き（Z巻き）の様です。ですから、昔は朝顔の蔓は左巻きと習ったように思いますが、現在は右巻きとされているようです。



## 仁泉ひろば

jinsen-park

## 第8回大阪府医師会主催の新研修医ウェルカムパーティが開催されました！

文責／御前 治（学 33 期）

令和6年4月6日に大阪府医師会主催新研修医ウェルカムパーティが大阪市内ホテルで開催されました。コロナ禍の影響で4年ぶりの開催でした。大阪府下の研修病院で今春から初期研修を開始したドクター150名あまりが参加されました。そのうち母校附属病院で研修されている先生方の集合写真です（一部あまりフレッシュではない方々もおられますが）。

「先生」と呼ばれ始めてまだ一週間ほどの本当に初々しいドクターたちです。研修でしっかり学び、研鑽を積み、良き医療人になられますことを期待しています。

## 星賀正明先生からのメッセージ

学34期の星賀です。2024年4月6日に大阪府医師会新研修医ウェルカムパーティーに参加しました。当日は、病院からチャーターバスで新研修医と直行。当院の新研修医は19名が参加し、これは府内研修病院の中で第2位の規模でした。大変有意義な時間を過ごしました。「大阪医科薬科大学関係者集合」、のアナウンスで、多くの仁泉会の先生方と登壇して、記念撮影をしました。この機会を通じて、新研修医にエールを送ると共に、母校の絆も深めることができました。



# 仁泉ひろば

jinsen-park

## 令和5年度大阪医科薬科大学医学部 バスケットボール部OB・OG会 総会開催の報告

文責／宮崎信一郎（学52期）

去る令和6年（2024年）2月24日（土）に令和5年度大阪医科薬科大学医学部バスケットボール部OB・OG会総会が午後7時からホテルグランヴィア大阪で開催されました。コロナ禍が明け、昨年に比べ、参加者数が増加し、30名のOB・OG会員と、現役生を代表して学生3名（3年生：熊野仁・安住圭司・伊藤有生）が集まりました。以下、その概要を報告いたします。

岡田茂樹新会長（学24期）のご挨拶で総会の開会となりました。参加者の増加に対して喜びを表明し、今後のOB・OG会の活動に期待を寄せました。北野直先生（学45期）の司会で、最初に庶務関連の報告が行われ、令和4年度までの会計を報告されました。またこの1年間で亡くなられた、曾我部俊大先生（学26期）へ黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りいたしました。そして、男子部キャプテン 熊野仁君、女子部キャプテン 伊藤有生さんから活動報告がありました。コロナ禍で大会そのものが軒並み中止となっていました、西医体をはじ

め、主要な大会が開催され、参加できる喜びと、チームの強化そして戦績upの抱負を語ってくれました。来年度も大いに期待していますので頑張ってください。

総会の終了後に、佐浦隆一先生からの顧問挨拶が行われ、大学の近況報告と現役学生へのサポートのお願いが述べられました。そして、室谷益代先生（学28期）の乾杯の音頭で懇親会が開催されました。参加者全員の近況報告を兼ねた挨拶があり、仕事の内容から、医師バスケットボール大会の再開を望む声や、ハラスメントの問題には注意するようアドバイスなどがあり、多岐に富むものでした。特に若手の先生に、先輩の先生から様々な助言をいただいている光景が多く、親睦を深め「絆」を感じられた良い懇親会となりました。松井昭彦先生（学28期）による中締め挨拶により、総会は終了しました。

この会は、学生時代に戻れる楽しいひと時を過ごすことができる会です。次回も一年後に再会することを約束してお開きとなりましたが、有志一同で北新地への二次会に移り、会は深夜におよんだことは言うまでもありませんが、その内容は全く覚えていません。

OB・OG会を盛り上げて、現役学生を応援するためにも、バスケットボール部OB・OGの先生には、是非とも総会および懇親会にご出席していただきますようよろしくお願い申し上げます。次回の開催は、令和7年（2025年）2月22日（土）にホテルグランヴィア大阪で予定しております。



参加者：（敬称略）

- 佐浦隆一（顧問・リハビリテーション学教授）
- 岡田茂樹（学24期）
- 松井昭彦（学28期）
- 中田英二（学28期）
- 小國龍也（学28期）
- 本田学（学29期）
- 永田昌敬（学30期）
- 室谷益代（学33期）
- 東川雅彦（学34期）
- 安田稔人（学37期）
- 瀧谷公隆（学38期）
- 太田博文（学38期）
- 市村善宣（学38期）
- 西岡恵里（学43期）
- 劉長勳（学44期）
- 山口和男（学44期）
- 北野直（学45期）

- 榮楽周子（学45期）
- 藤田能久（学47期）
- 片嶋隆（学50期）
- 山本誠士（学52期）
- 宮崎信一郎（学52期）
- 伊丹康夫（学56期）
- 岡井主（学60期）
- 斎藤明菜（学60期）
- 平井あい（学60期）
- 高矢雅大（学61期）
- 中村玄（学61期）
- 平井佳宏（学62期）
- 柏木秀基（学65期）
- 熊野仁（学生）
- 安住圭司（学生）
- 伊藤有生（学生）

## 冊子切抜

2024年1月27日発行の週刊日本医事新報 NO.5205に鈴木富雄教授の記事が掲載されました。ご紹介させていただきます。

**もう騙されない！ 外来に現れるミミック疾患**

**File 23 腹部膨満感を伴う腹水貯留**

【監修】宮口洋貴（浩和会豊岡病院総合内科部長）  
【執筆】橋田 理（大阪医科薬科大学病院総合診療科）  
鈴木富雄（大阪医科薬科大学地域総合診療科 学術課 特別任命教員教授）

疾患	婦人科悪性腫瘍による悪性腹膜炎	pseudo-Meigs 症候群
腹水以外の症状	腹部膨満感、体重減少、食欲不振など	胸水が先に出現することがある
腹水の性状	滲出性	滲出性/滲出性の両方のパターンがある
腹水細胞診	陽性	陰性

【疾患】婦人科悪性腫瘍による悪性腹膜炎  
婦人科悪性腫瘍による悪性腹膜炎は、主に卵巣癌、子宮体癌、子宮頸癌などの婦人科領域の悪性腫瘍に起因する。腫瘍細胞が腹膜に播種し、腹膜炎を引き起こすことにより腹水が出現する。腹水貯留、腹部膨満感、体重減少、食欲不振などの症状がみられる。診断は、画像診断（CTやMRI）、腹水穿刺による細胞診、必要に応じて腹腔鏡検査などによって行われる。治療はがんの種類や進行度によって異なり、手術、化学療法、放射線療法などを組み合わせて行われることが多い。

【ミミッカー】pseudo-Meigs 症候群  
腹水貯留の明らかなメカニズムは不明であるが、①腫瘍が腹膜表面を刺激することにより腹水が産生される説、②腫瘍のリンパ管や静脈の閉塞により浮腫性変化が起こり腫瘍の表面から組織液が滲出する説、③サイトカインにより腹水が産生される説、など複数の仮説が提起されている。胸水貯留のメカニズムも不明であり、リンパ管や横隔膜を介して流れる説が提起されている。症例の約60%は、胸水は右側のみ出現する。胸水は腹水より先に出現することもある<sup>1)</sup>。胸水および腹水は、滲出性/滲出性の両方のパターンの報告がある<sup>2)</sup>。

pseudo-Meigs 症候群でもCA125の上昇を認めることがあるが、腫瘍を摘出し胸腹水が改善した後はCA125の改善を認める。また、そもそもCA125は腫瘍・胸膜・胸腺、あるいは子宮・卵管内膜でも産生されるため、卵巣癌や消化器癌以外にも良性卵巣腫瘍、子宮内膜症、子宮筋腫、腸閉塞、肺炎、胆嚢炎などでも上昇する。そのため、婦人科悪性腫瘍による悪性腹膜炎とpseudo-Meigs 症候群の鑑別にCA125は有用ではない。

pseudo-Meigs 症候群は、腹水や骨盤内の腫瘍の組み合わせから進行がんと判断され、手術までに時間がかかる傾向があることが報告されている。

【症例】  
主訴：腹水  
現病歴：67歳女性。既往に脂質異常症がある。2カ月前から両下腿の浮腫と腹部膨満が出現したため、他院を受診した。子宮筋腫と腹水が認められたのみで、腹水の原因を精査的に紹介受診となった。自覚症状は腹部膨満感があるのみで、倦怠感、食慾不振、体重減少は認めなかった。

【診断・治療の経過】  
身体所見では、外頸静脈怒張や心雑音は認めなかった。腹部膨満が著明にあるが、圧痛や肝脾腫は認めなかった。下腿浮腫はあるが、上肢には浮腫を認めなかった。血液検査ではCA125の軽度上昇を認めたが、腎機能、肝酵素、アルブミン、BNPは正常であった。蛋白尿も認めなかった。CT検査では、両側の少量胸水、子宮筋腫、大量腹水を認めた。肝辺縁は整で腫大や腫瘍影はなく、門脈の拡張や側副血行路の発達は認めなかった。腹膜の肥厚や腹膜に腫瘍影も認めなかった。腹水検査では細胞数上昇はなく、細菌培養・抗酸菌培養検査も陰性であった。上部および下部消化管内視鏡検査も特異的な所見はなく、FDG-PET/CT検査でも集積を認めなかった。悪性腫瘍の可能性は否定的であったため、子宮筋腫によるpseudo-Meigs 症候群の可能性が考えられた。

本人と家族に対して、他疾患の可能性を除外したことでpseudo-Meigs 症候群の可能性について説明し、同意を得た上で子宮摘出術を施行した。病理診断は変性子宮筋腫であった。子宮摘出術施行前は腹部膨満感の緩和と目的に、腹水穿刺が月2回ほど必要であったが、手術後は胸腹水の再貯留は認めず、pseudo-Meigs 症候群の確定診断となった。術後数カ月後の血液検査では、CA125の値は正常範囲に低下していた。

鑑別のポイント

- ・腹水細胞診が陽性である。
- ・腹膜炎を示唆する所見がない。滲出性腹水のこともあるが、腹水中の細胞数は増加せず、腹水培養検査が陽性となる。

その他のミミッカー

- ・蛋白漏出性腎臓病：蛋白漏出性腎臓病は、血漿蛋白が血管壁へ異常漏出する病態である。消化器症状があることが多く、低アルブミン血症となるので、消化器症状、低アルブミン血症やアルブミンシグナチャーが鑑別に有用である。
- ・肝硬変：肝硬変で出うる身体所見（腹壁静脈怒張、顔面毛細血管拡張、手掌紅斑）は感度が低く、腹部超音波検査の感度も十分とは言えない。線維化マーカーやスコアリングシステムは比較的高感度が高いので、それらを利用することで肝硬変の除外を行い、鑑別を行う。

【文献】  
1) Handler CE, et al:Thorax. 1982;37(5):396-7.  
2) Yaguchi A, et al: J Nippon Med Sch. 2020;87(2):80-6.  
3) Krenke R, et al:Medicine (Baltimore). 2015;94(49):e2114.

14 日本医事新報 No.5205 © 2024. 1.27

No.5205 © 2024. 1.27 日本医事新報 15

会 員 著 書

梶川 博先生(特別期)がご執筆されたゴールデンライフ特別編集号が発刊されましたのでご紹介いたします。

ゴールデンライフ特別編集


今すぐ始められる!もの忘れ対策!

1年で脳をイキイキ




**認知症予防**

のための

**12カ月チャレンジ**

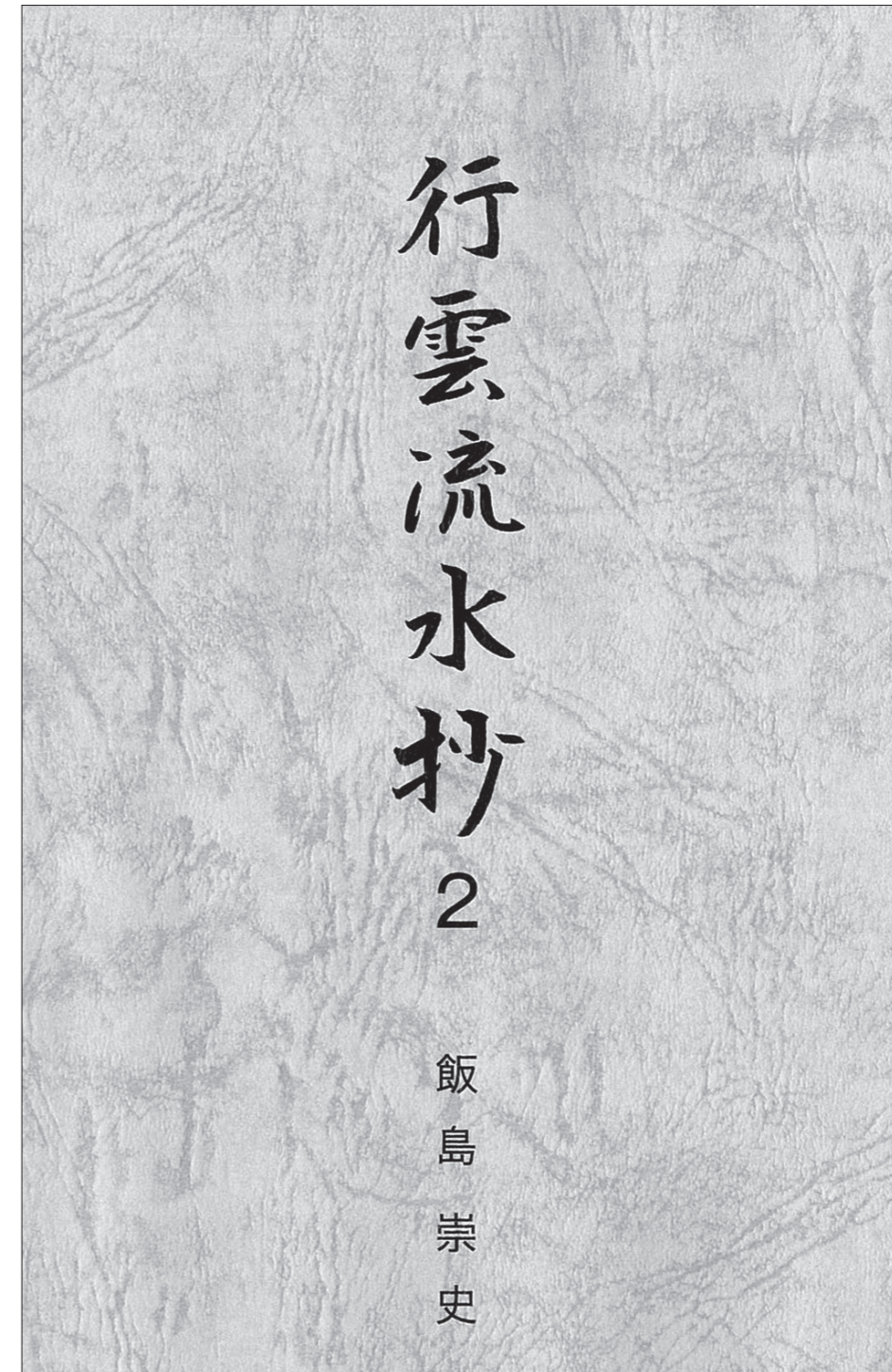


脳をすこやかに保つための方法を3人の先生が伝授!

	<p>かじかわ ひろし <b>梶川 博</b> 医療法人翠清会 翠清会梶川病院 会長</p>		<p>かじかわ みなこ <b>梶川 咸子</b> 医療法人翠清会 介護老人保健施設 ひばり 施設長</p>		<p>もり これあき <b>森 惟明</b> 高知大学 名誉教授</p>
---	--	---	---	--	--

会 員 著 書

飯島崇史先生(学25期)が書籍「行雲流水抄」を発刊されましたのでご紹介させていただきます。





古い歌7

だけど送って欲しいと  
頼まれたら  
断ってね

見上げてごらん  
夜の星を

遠ざかる影が  
人混みに消えた  
もうとどかない  
贈る言葉

ラストダンスは私に  
越路吹雪

見上げてごらん夜の星を  
坂本九

贈る言葉  
海援隊



君の心の  
決めたままに

俺に返す  
つもりならば  
捨ててくれ

まだまだ  
帰りたくないの

マイウェイ  
布施明

ルビーの指輪  
寺尾聡

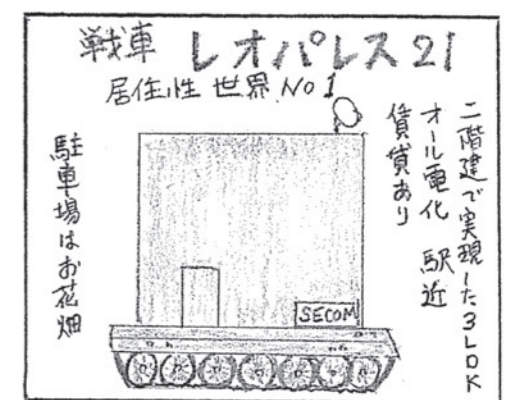
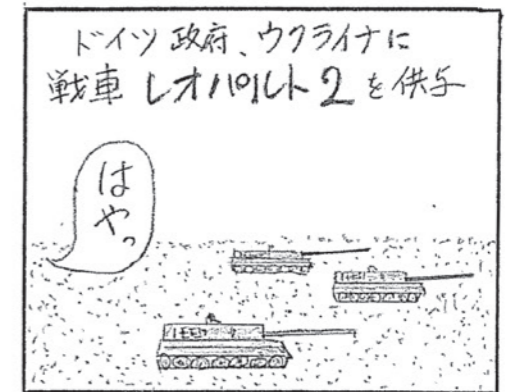
帰りたくないの  
園まり



四柱推命



戦車



# 本部だより

## 会員名簿記載事項確認書の 受付確認のお願い

前号に同封した「会員名簿掲載事項確認」に、多数のご返信をいただきありがとうございました。その際、事務局FAXが混みあいご迷惑をおかけしました事を深くお詫び申し上げます。また、事務局の電話にFAXを送っていた物を受信ができておりません。

4月16日までに事務局でご確認をさせていただいている先生のご氏名を下記にご掲載をさせていただきます。

誠にお手数ですが、ご確認をいただき、お名前がない先生は今一度、仁泉会事務局 FAX(072-682-6636)までご送信をいただきますようお願い申し上げます。

〈期〉	〈氏名〉	〈期〉	〈氏名〉
高18	岡井良男	12	植木 實
高19	久野敏人	12	内田 實
高19	須永徹	12	大崎 洲
高20	大西省司	12	梶川健造
1	操 忠	12	佐藤公彦
3	武田啓志	12	角南暲司
5	陰山 克	12	丸山優子
6	塘 二郎	12	山本哲也
6	吉原正道	12	吉岡達夫
8	佐々木進次郎	12	吉田泰子
8	財田英穂	13	辻井清重
8	藤田邦彦	13	中川正清
8	栢岡 進	13	新見紘一
9	大隈義彦	13	古山馨代
9	山野 究	13	松田 勝
10	市岡五道	13	森本高雄
11	高橋喜嗣	13	山本勝彦
11	竹田達夫	14	上出秀夫
11	辰見宣夫	14	喜田 衛
11	辻 敦敏	14	内藤啓三
11	濱脇弘暉	14	西村輝行
11	檜垣 勝	14	吉田繁一
11	文珠敏郎	15	勘田紘一
11	吉田 泰	15	佐藤文彦
12	秋岡 壽	15	谷尻 仁

15	橋平成章	21	大津弥平
15	福本 攻	21	岡田豊子
16	中野康夫	21	齋藤振二
16	樋口久人	21	佐々木 尚
16	藤原喜代子	21	清水 修
16	向出雄二	21	近森正幸
16	森鼻 豊	21	土居義典
17	青木泰亮	21	中村晋作
17	今村喜久子	21	林 豊行
17	宇津一彦	21	古林光一
17	岡田勝彦	21	古屋紳子
17	小野秀太	22	麻田邦夫
17	服部康夫	22	池田克己
17	渡邊壽彦	22	樫原茂之
18	浅野翔一	22	上村博幸
18	飯田 稔	22	大庭容子
18	伊藤正尚	22	岸田尚夫
18	竹内宏一	22	栗山 博
18	武内純夫	22	佐野 求
18	西上英昭	22	志熊 肅
18	藤川和生	22	清水鴻一郎
18	宮地道弘	22	谷 二三生
18	桃井 潔	22	豊田秀三
19	池宗宏典	22	傳 秋光
19	内田 攻	22	中尾重昭
19	岡田直樹	22	並河 啓
19	黒川 恵	22	舟木 亮
19	佐野郁生	22	増井義一
19	白石昌之	22	山下達博
19	富山徹夫	22	山田眞一
19	吉川順介	22	横山和永
20	飯田紀彦	23	稲田 徹
20	稲掛英男	23	大野郁夫
20	大八木 明	23	梶野興三
20	木下和之	23	假野隆司
20	荃田祥三	23	小西英治
20	倉重哲也	23	近藤敬一郎
20	寺尾直道	23	櫻本邦男
20	中西一繪	23	田中泰吉
20	長尾 光	23	細井延行
20	林 達信	24	加藤佳典
20	山崎紘一	24	北村彰英
20	山本勇治	24	久保光彦
21	内海 隆	24	小西和孝

24	杉浦 誠	26	宗光博文
24	高原和夫	26	安田 讓
24	玉城英子	27	安藤ルリ子
24	新島 和	27	板橋 司
24	濱田偉文	27	井上克彦
24	平田一郎	27	岩田 隆
24	福本敏子	27	宇野耕太郎
24	松村 裕	27	大槻勝紀
24	森本博子	27	河田牧男
24	矢倉道泰	27	木村文治
25	浅田修二	27	末吉公三
25	東 正久	27	瀬本喜啓
25	飯島崇史	27	田中眞一郎
25	石原 正	27	地嵩剛史
25	猪熊和代	27	辻本 豪
25	宇野 功	27	中田文子
25	梅垣 裕	27	中林愛晶
25	大西洋一郎	27	比嘉利信
25	大森英夫	27	前田隆義
25	片山外一	27	向井龍一郎
25	河崎建人	27	渡辺義博
25	河村英治	28	板野 聡
25	田口裕一郎	28	上田陽彦
25	多田秀樹	28	小野誠治
25	寺井和重	28	木附公介
25	中島 徹	28	黒岩敏彦
25	原 聖	28	小出尚志
25	福居兼実	28	小高正裕
25	丸岡博史	28	齋田 宏
25	水田仁士	28	鈴木由美子
25	宮越一穂	28	高島正樹
25	山本良昭	28	田口忠宏
26	曾田庄造	28	武田京子
26	亀岡明夫	28	田中嘉雄
26	久保川 学	28	玉井 浩
26	島田 徹	28	徳岡 覚
26	中島正之	28	丹羽 勇
26	那須康典	28	乃木稜介
26	西村 光	28	萩原暢子
26	長谷川真知子	28	原 章倫
26	樋口 徹	28	藤田素樹
26	深水陽子	28	松井昭彦
26	松本延男	28	三宅裕治
26	溝口良純	28	三宅直子

28	和田芳幸	30	林 孝乾
29	大塚みき子	30	林 哲也
29	小田明彦	30	福田泰樹
29	木村眞二	30	馬嶋素子
29	久保田次郎	30	三好保由
29	久保田文子	30	山本佳弘
29	城石平一	30	余田 篤
29	杉田邦洋	31	池上陽一
29	高山 実	31	池田正隆
29	田中英高	31	伊藤克彦
29	谷 康平	31	岩瀬知行
29	谷村史子	31	上田信行
29	辻 敬	31	大原裕彦
29	中林まゆみ	31	岡部みどり
29	西村淳幸	31	奥田龍三
29	野邑敏夫	31	奥村泰啓
29	平山公三	31	長田啓嗣
29	福田吉彦	31	榊原敏彦
29	藤本正子	31	鈴木克司
29	藤原正隆	31	鈴木周平
29	藤原祥子	31	瀬木治郎
29	湯川裕史	31	高市幸彦
29	梁 壽男	31	高崎智彦
30	足立 至	31	竹井通博
30	網岡勝見	31	田村 功
30	安藤 明	31	土肥多恵子
30	岡田 定	31	中嶋邦登
30	勝又廣重	31	中村善尚
30	金山るり	31	西原徳文
30	小竹武志	31	橋村直隆
30	酒谷省子	31	英 裕人
30	佐藤文平	31	原 均
30	澤田 出	31	柳川百世
30	柴田真一	31	山陰圭一
30	枚岡芳江	32	内山和久
30	鈴木 潔	32	岡野智英
30	高場憲夫	32	久保寛倫
30	多田万砂子	32	後藤真樹
30	田中裕久	32	千福恵子
30	地嵩和子	32	谷田泰孝
30	徳田正邦	32	寺崎由香
30	中島幹雄	32	中川浩彰
30	中山富雄	32	中山明子
30	永田昌敬	32	長野文昭



32	西垣昌人	34	青木眞一郎	35	吉積宗範	38	岡 民子
32	野間成則	34	伊藤 尚	36	足立 睦	38	小川 拓
32	長谷川利雄	34	上田 新	36	井本広济	38	菊岡範一
32	原 千恵	34	桶田正成	36	植田直樹	38	木原佳代
32	東野 健	34	城戸 剛	36	加藤 洋	38	木原信一郎
32	舟木千明	34	木村寛伸	36	久保田泰弘	38	佐々木雄史
32	蓬萊卓磨	34	小溝芳美	36	児島成之	38	下村裕章
32	槇野茂樹	34	塩見勝彦	36	辻 良一	38	鈴木秀治
32	三好和裕	34	白井久也	36	辻 雅夫	38	瀧谷公隆
32	村上浩一	34	直原廣明	36	中瀬恵美子	38	萩森伸一
32	安川 剛	34	辻 雅夫	36	波江野茂彦	38	林 伊吹
32	柳農浩右	34	中岡伸哉	36	平澤将男	38	平賀正文
32	山本喜英	34	長岡孝恭	36	深尾篤嗣	38	藤田定則
32	山本洋子	34	東川雅彦	36	真多浩子	38	藤本勝久
33	井上澄江	34	藤尾圭司	36	松本昊一	38	堀 彰宏
33	上田晃一	34	松村典彦	36	南 敏明	38	本田恭子
33	浮村 聡	34	宮下裕二	36	森川浩志	38	村田卓士
33	大島明良	34	山田勝彦	36	横田伸吾	38	森本眞美
33	大野富美	34	横井昌人	37	新井眞樹	38	柳田和哉
33	大山恭夫	35	井上 功	37	在田理香	38	和田賢三
33	長田和裕	35	今出川盛宣	37	池田宗一郎	39	赤羽たけみ
33	片岡伸彦	35	恵美滋文	37	石田高明	39	石塚俊二
33	加藤宗寛	35	大久保知之	37	井利雅信	39	石田志門
33	金原稔幸	35	大崎 匡	37	大中玄彦	39	石原眞紀
33	後藤充男	35	大原由香	37	小田幸作	39	江村成就
33	酒井泰彦	35	岡 成樹	37	川島啓誠	39	川畑 香
33	里村由紀子	35	笠島哲也	37	川西昌浩	39	熊野宏二
33	進藤嘉一	35	笠原幹司	37	吉良貞政	39	康 純
33	竹内陽史郎	35	加藤康之	37	熊野穂積	39	徐 信夫
33	田中 功	35	川崎康寛	37	坂井伸好	39	寺前純吾
33	田中啓子	35	木勢基子	37	関谷喜一郎	39	野中隆三郎
33	田辺英紀	35	小坂理也	37	宗宮浩一	39	幕谷 薫
33	徳永慎吾	35	後藤英太	37	高澤 実	39	松岡孝枝
33	濱本 浩	35	貞岡達也	37	中島 伯	39	山口和伸
33	春山 隆	35	杉本憲治	37	疋田米造	39	横田直人
33	平賀康彦	35	瀬尾 崇	37	福原雅之	39	横谷 徹
33	平松昌子	35	成田光男	37	堀口泰輔	39	吉村道子
33	本合 泰	35	原田隆文	37	松山南律	39	李 玉鏞
33	前田壮二郎	35	福本信介	37	村尾 浩	39	渡辺吉博
33	前田 環	35	福本敦子	37	安田稔人	40	池田 進
33	三宅宗典	35	前村憲太郎	37	吉田麻美	40	植木麻理
33	村田真二	35	三島一彦	38	市村善宣	40	上田英一郎
33	山口 淳	35	森脇真一	38	伊藤隆英	40	太田博史
33	山田圭一	35	梁 裕昭	38	大田和美	40	大谷 良

40	大津詩子	42	池田尚子	43	樋上泰成	45	久本浩司
40	大村浩之	42	猪飼重雅	43	宮田香織	45	堀 郁子
40	北村 洋	42	折野一郎	43	村西美智子	45	前田佳子
40	熊野久美子	42	鹿嶽佳紀	43	湯田 淳	45	丸山栄勲
40	小池麻子	42	勝間寛和	44	芦田 兆	45	操 裕
40	清水潤三	42	加藤陽一	44	井上彰子	45	芳谷伸洋
40	田浦智幸	42	坂元 武	44	上原秀明	46	新井康泰
40	田中慶太郎	42	塩崎 憲	44	内田京子	46	荒木良治
40	戸田千綾	42	千堂宏義	44	追矢秀人	46	飯田 仁
40	中小路澄子	42	谷光利昭	44	大澤正実	46	池原伸直
40	西川有佳里	42	辻 慶久	44	太田俊輔	46	稲川 誠
40	野原文裕	42	辻本達寛	44	太田成彦	46	稲川みずほ
40	原 直樹	42	土屋貴昭	44	黒田有子	46	江村和世
40	平野博嗣	42	野瀬隆夫	44	須藤 雪	46	大西宏之
40	松島礼子	42	福西貴代	44	須磨升美	46	杉本美重
40	三嶋隆之	42	福西邦素	44	高橋 元	46	工藤将茂
40	大原尚子	42	福原源太郎	44	竹原幹雄	46	工藤有里子
40	米林功二	42	本田えり子	44	竹村和宏	46	古武彌嗣
41	青田玲子	42	増田 裕	44	田中啓子	46	小林尚弥
41	池永雅一	42	松本逸平	44	谷掛千里	46	井戸口理恵
41	伊藤 博	42	水田成彦	44	東口治弘	46	篠原和幸
41	稲田泰之	42	村木早苗	44	中井 宏	46	嶋 洋明
41	内田由里子	42	山口眞紀	44	中島久和	46	辰巳嘉章
41	大原英嗣	42	山本善哉	44	中嶋章貴	46	中倉兵庫
41	木下博之	42	山本尚哉	44	中原健一	46	中平雅清
41	久保井敬之	43	飯田泰久	44	中山潤一	46	平 清吾
41	小島 博	43	伊藤 大	44	西本昌義	46	福西新弥
41	小見山淳子	43	井上俊宏	44	福井秀雄	46	堀内直美
41	小屋徳子	43	大井正貴	44	山元康彰	46	守屋直美
41	鈴木ユリ	43	岡崎 紀	44	李 相雄	46	山田勝彦
41	瀬川直樹	43	尾崎誠重	44	渡邊敏夫	46	山田 誠
41	傍島 聰	43	小澤峰一	45	大城康司	47	足立倫代
41	寺西 務	43	賀陽亮太郎	45	岡田健一郎	47	井代 学
41	中西恵美	43	河上千尋	45	落合宏司	47	遠藤由紀子
41	西田晴彦	43	北原民雄	45	河原邦彦	47	大塚宏治
41	新田雅彦	43	清原稔之	45	兒玉隆之	47	大原裕子
41	福寫謙太郎	43	金高大悟	45	近藤圭策	47	岡田 雅
41	藤川えつこ	43	黒川晃夫	45	宮下恵実子	47	岡本貴子
41	藤田一彦	43	佐々木美礼	45	高橋雅子	47	覚野芳光
41	湊 恵美	43	白川重雄	45	土屋祥子	47	金光大石
41	八木初美	43	鈴木 厚	45	中山祐史	47	川崎善子
41	山下能毅	43	須山嘉雄	45	丹羽英康	47	清野智恵子
41	渡會恒久	43	中川義仁	45	林 哲也	47	吉良貞昭
42	芦田京子	43	永田正喜	45	原 啓太	47	桑田すずえ

47	高 富栄	49	野口達哉	52	吉岡万紀子	55	藤永和寿
47	澤木秀明	49	人見克司	52	田口久美子	55	八木 匠
47	高瀬 泉	49	藤村憲崇	52	田中篤志	56	岩崎信吾
47	田中太一郎	49	服部晶子	52	福井美保	56	大関道薫
47	田村滋規	49	松田高明	52	中島沙恵子	56	小川悟史
47	辻 雄一郎	49	三澤由幾	52	藤田洋一	56	奥平 尊
47	鄭 充康	49	三枚史子	52	山名秀典	56	加藤丈陽
47	平岡やよい	49	和田友香	52	山根一志	56	坂東弘教
47	藤阪保仁	49	西村 綾	52	山本誠士	56	金村 萌
47	藤田今日子	50	池田佳代	53	禹 英喜	56	藤木陽平
47	藤田能久	50	乾 崇樹	53	浦壁洋太	56	則岡有佳
47	本庄正朋	50	江城久子	53	川茂聖哉	56	松村誠也
47	増田大介	50	岡田耕治	53	勝瀬千佳	56	眞野侑子
47	丸一みどり	50	太田恵理	53	筒泉香君	56	吉川信彦
48	有吉 中	50	小島尚代	53	徳岡孝仁	57	徳田千恵
48	大野克記	50	白石奈々子	53	坂東重浩	57	大関ゆか
48	岡本純典	50	鈴木智子	53	間嶋 望	57	木村侑子
48	小川 尚	50	鈴木敬子	53	湯口裕子	57	布谷健太郎
48	吉良俊彦	50	高村香織	53	和倉玲子	57	長谷川義仁
48	洪 真紀	50	谷本啓爾	53	和倉大輔	57	前田大介
48	小林望美	50	谷本芳美	54	大田真紀代	57	松野裕旨
48	佐竹信哉	50	中井真由美	54	小田周平	57	依藤直紀
48	高橋 謙	50	東野昌子	54	河崎 敬	58	泉 博子
48	田中 覚	50	松谷崇弘	54	川嶋浩平	58	内堀裕昭
48	中倉範子	50	三木義仁	54	川西恵美子	58	奥 久徳
48	灘波良信	51	青松友槻	54	小嶋融一	58	岡本宏美
48	西野鏡雄	51	木下明彦	54	清水博子	58	木村良紀
48	新田敏勝	51	工藤勝秀	54	早川由紀	58	酒谷 徹
48	原 聡志	51	藤阪智弘	54	飛田高志	58	佐野達志
48	福澤宏明	51	藤山吉更	54	谷井啓一	58	品川友親
48	松本 奉	51	堀部智之	54	山内 繁	58	鈴木江美
48	松本 希	51	鱒渕誉宏	54	吉岡篤志	58	高橋秀明
48	操 真紀	51	三上典子	55	大西章仁	58	上垣内美幸
48	横山聡子	51	宮田至朗	55	大林敦人	58	東山 央
48	矢野 裕	51	安井昌子	55	岡嶋 亮	58	眞野福太郎
48	吉田友和	52	赤石由伽	55	神田幸洋	59	井手健太郎
49	明瀬大輔	52	飯田真大	55	高野さくらこ	59	江崎雄也
49	磯野佳子	52	上田万里子	55	辻 佐妃	59	大島 侑
49	加納義浩	52	内本晋也	55	津田 武	59	鈴鹿真理
49	鈴木浩之	52	扇谷大輔	55	津覇亜紀	59	依岡智子
49	滝沢義唯	52	柿野聡美	55	中尾 崇	59	竹谷祐栄
49	立神史稔	52	加藤勘明	55	中矢絵里	59	中村真浩
49	月山芙蓉	52	神崎洋光	55	中矢良治	59	西川優子
49	土井朝子	52	小寺智子	55	平山真理子	59	西本知子

59	伊元さやか	62	藤井修平	67	今泉孝太	71	武田恵美
59	藤本将人	62	藤本隆一郎	70	坂田英瞭	71	中川知軌
59	船内祐樹	62	由上博喜	67	山口亜沙美	71	中村 仁
59	水谷 翠	63	網岡 慶	67	寺本圭佑	71	益田祥吾
59	渡邊光太郎	63	峠 かきの	67	仲野佐方里	71	山本貴大
60	池田周正	63	野呂恵起	67	永島 希	72	浅田将太
60	石黒まや	63	吉本幸世	67	長谷川 翼	72	木村健人
60	市原佑紀	63	松本明子	67	林 秀弥	72	塩谷一真
60	上原尚子	63	森本貴子	67	八百佑樹	72	須永修平
60	岡井 主	63	照林果奈	68	浦上貴弘	72	田中絵梨
60	慶元正洋	63	渡辺 陽	68	満屋春奈	72	中村優希
60	佐々木裕亮	64	田原早紀	68	志村暢泰	72	長濱 渚
60	寺井健太郎	64	和田あゆみ	68	武林里沙	72	仁木隆裕
60	野島智子	64	笠松彩音	68	田辺奈津実	72	任 聿輝
60	久富隆太郎	64	兒島 直	68	戸田貴之	72	本田遼真
60	平井あい	64	増田 聖	68	西納卓哉	72	増原健悟
60	松岡由希子	64	山根亮介	68	藤原有沙	72	松尾祐佳
60	松野尚子	64	吉澤賢志	68	松山浩太	特別	大澤仲昭
60	丸山惣一郎	64	萩原修子	68	山本健太	特別	勝岡洋治
60	李 和純	65	朝井まどか	69	飯島 麦	特別	勝谷友宏
60	渡辺智彦	65	池田理子	69	池田美幸	特別	黒川達人
61	今城幸裕	65	伊丹さやか	69	板垣由実	特別	中西豊文
61	北野裕孝	65	山中百優	69	伊藤悠記	特別	長澤史朗
61	北埜 学	65	飯田智恵	69	宇佐美福人	特別	花房俊昭
61	斯波宏行	65	岩田翔太	69	鹿野 燎	特別	古谷榮助
61	渡辺久代	65	岡部 悟	69	三浦深仁	特別	宮崎瑞夫
61	大門篤史	65	乙丸一平	69	佐々木彰紀	特別	宮前有子
61	根来孝義	65	佐々木 駿	69	曾根万里江	特別	高見俊宏
61	服部公亮	65	神人 彪	70	澤村栄鳳		
61	山本佳子	65	杉本貴史	70	田村敬政		
61	山本峻平	65	西坂一馬	70	留野広太郎		
62	安野佳奈	65	沼本 諒	70	中山俊雄		
62	飯塚徳昭	66	三田村花織	70	坂東拓人		
62	太田将仁	66	平井智美	70	堀 彩乃		
62	許 正翰	66	小川将司	70	都 公哉		
62	黒岡佑介	66	香山 諒	70	八重垣美華		
62	高梨裕介	66	伊藤麻里奈	71	足立尚紀		
62	竹本有里	66	寺本昌司	71	伊丹高顕		
62	鶴田幸之	66	日置千華	71	内田康仁		
62	照林優也	66	細井恵理子	71	松田圭由		
62	仲河恒志	66	牧澤佑樹	71	小寺龍介		
62	中村善胤	66	松岡俊裕	71	島原実理		
62	西田浩孝	66	吉田篤史	71	國井真梨子		
62	平井佳宏	67	坂口真理子	71	瀬澤 良		

# 会員訃報

次の会員が亡くなりました。  
慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

## 学部7期 繁本清美先生

令和6年2月10日肺炎の為ご逝去。(91歳)

昭和33年卒。

京都府向日市にて外科をご開業になり、地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 弘子様

## 学部10期 朝倉晃先生

令和5年10月5日慢性心不全の為ご逝去。(89歳)

昭和36年卒。

卒業後、第二内科に入局され、昭和53年に奈良市にて朝倉診療所を開院されました。奈良県医師会理事、奈良県社会保険診療報酬支払基金審査委員長をお務めになられるなど地域医療に尽力されました。平成17年に宮内庁より園遊会へのご招待を受けられ、平成24年には旭日双光章を受章されておられます。

ご遺族 妻 悦子様

## 学部11期 湯下堅也先生

令和6年3月2日老衰の為ご逝去。(88歳)

昭和37年卒。

岐阜県の和良村国保病院、おおのクリニックにて産婦人科医としてご勤務になり、地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 澄美子様

## 学部13期 尾崎仁一先生

令和5年12月9日大腸がんの為ご逝去。(87歳)

昭和39年卒。

昭和47年11月に奈良県大和高田市にて「尾崎整形外科」をご開業になり、地域医療に尽力されました。

ご遺族 長女 松塚仁子様

## 学部17期 本多孝也先生

令和5年8月6日急性肺炎の為ご逝去。(80歳)

昭和43年卒。

和歌山県日高郡みなべ町にて内科をご開業になり、地域医療に貢献されました。

ご遺族 次男 宏行様

## 学部18期 初山正尚先生

令和6年1月20日肺炎の為ご逝去。(87歳)

昭和44年卒。

卒業後、関東通信病院(現・NTT 東日本関東病院)に入局されました。昭和55年に東京都世田谷区にて初山内科医院をご開業になり、地域医療に尽力されました。

ご遺族 長女 加藤京子様

## 学部20期 江原一彦先生

令和6年1月15日肺炎の為ご逝去。(78歳)

昭和46年卒。

岡山県津山市にて内科をご開業になり、地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 智子様

## 学部33期 杉森清孝先生

令和5年12月21日肝細胞がんの為ご逝去。(67歳)

昭和59年卒。

大野病院、東和会病院でのご勤務を経て、平成6年4月に生駒市にて「杉森内科胃腸科」をご開業になり、地域医療の為に尽くしておられました。

ご遺族 妻 典子様

## 学部39期 今中政支先生

令和5年7月28日急性心筋梗塞の為ご逝去。(58歳)

平成2年卒。

高槻市にて「いまなか耳鼻咽喉科」をご開業になり、地域医療の為に尽くしておられました。

ご遺族 妻 直子様

# 開業しました!

## 奥平 尊先生 (学56期)

名称 おくひらのびのび  
駅前こどもクリニック

住所 〒618-0022  
大阪府三島郡島本町桜井  
2-15-8-103

電話 075-963-1515

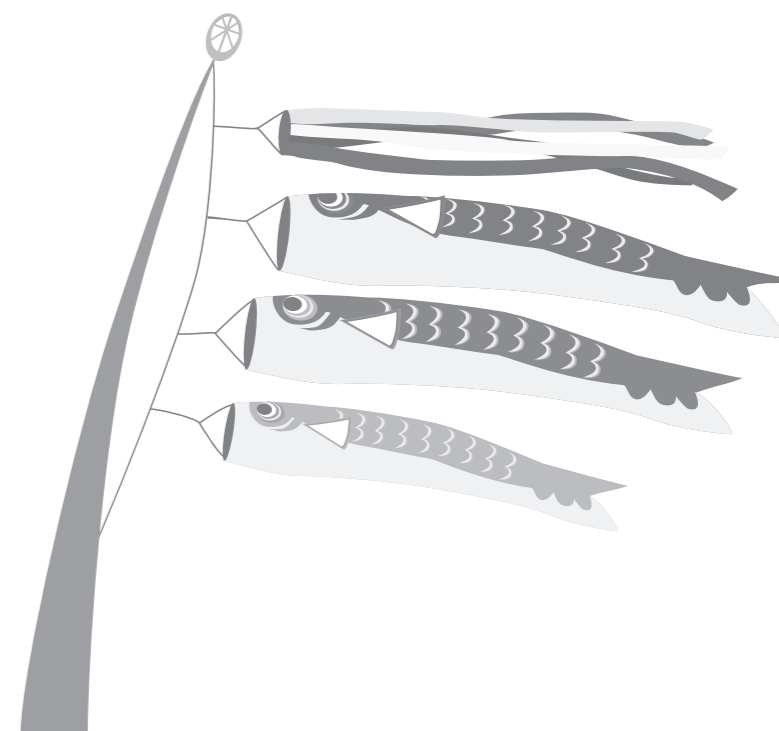
診療科目 一般小児科、小児消化器、  
乳幼児健診、予防接種

診療時間 午前 8:30~12:00  
午後 16:00~18:30

乳幼児健診、予防接種、特別外来  
午後 14:00~16:00

休診日 木曜・土曜午後、日曜、祝日

仁泉会の先生方に一言  
少しでも地域の小児医療に  
貢献できるよう頑張ります。  
よろしくお祈り申し上げます。



# 編集部より

## 会費納入のお願い

年会費

令和6年度 10,000円

令和5年度 10,000円

令和4年度 10,000円

納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

## 編集後記

春は年度替わりの時期であり、卒業や入学、就職など人生の節目を迎える季節でもあります。今回の仁泉会ニュースでは佐野学長先生、仁泉会理事長安藤先生の母校卒業式の祝辞を掲載しています。今回卒業される同窓は、学生時代の後半を新型コロナ感染症流行の真ただ中で過ごされたのですが、無事卒業され心より

## 原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。ご投稿お待ちしております。

●55巻4号(令和6年7月1日発行)  
締切 令和6年5月末日

●55巻5号(令和6年9月1日発行)  
締切 令和6年7月末日

●送付先:仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町2-7  
E-mail:jimu@jinsenkai.net FAX:072-682-6636

お慶び申し上げます。仁泉会事業ではないのですが、大阪府医師会主催の新研修医ウェルカムパーティーについても紹介しています。小筆の若いころとは違い、最近の若い先生方はあまり物おじされず、コミュニケーション力にたけておられるように思います。あらたにドクターになられた皆様の今後に幸多かれと祈念いたします。

(治)

# 大阪医科薬科大学女性医師の会 第3回総会のご案内

春爛漫のみぎり、女性会員の皆様におかれましてはお変わりございませんでしょうか。下記の通り、第3回総会を開催いたしますのでご参加いただけますようお願い申し上げます。

昨年は4年ぶりに懇親会を開催し、皆様の笑顔で元気がみなぎる思いがしました。本年も、総会はオンラインでもご参加いただけますが、是非懇親会にもご参加いただきたく、ご都合が許す限り会場です学年や診療科を超えて交流させていただけると幸いです。

皆様とお会いできることを役員一同楽しみにお待ちしております。

### 記

日時：令和6年6月8日（土）午後4時30分開始  
午後4時30分～6時 総会および医療講演会  
医療講演会「新薬の開発と製薬企業医師の役割」  
講師：バイエル薬品株式会社 執行役員 研究開発本部長  
梶川麻里子先生（学41期）  
（総合内科専門医、日本内分泌学会専門医）

場所：ホテルグランヴィア大阪 20階  
総会及び講演会：孔雀の間 写真撮影：桐の間 懇親会：鳳凰の間

会費：10,000円（懇親会会費）、2,000円（講演会のみ）、オンライン参加の場合は無料

参加登録：ご来場と遠隔の場合とで参加登録方法が異なります。

ご来場の場合：メールで①～④をお送りください。

宛先：omc-women@jinsenkai.net 件名：参加登録

①氏名（旧姓）、②卒業年度もしくは学期、③メールアドレス、④懇親会参加の有無

遠隔参加の場合：下記URLもしくはQRコードからご登録ください。

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZItc-yqpzkiGdFyDJVivnw5qhLrlPOgaXv6>

※事務局でZOOM登録を代行させていただくこともできます。



ZOOM参加登録

お席のご用意がありますので、懇親会にご参加いただける場合は5月27日までにお返事をいただけますと幸いです。

仁泉会ニュースでのご案内は5月中旬となります。

### 【ホームページのご案内】

女性医師の会では、近況報告やイベント情報などを共有できるホームページを運営しています。ホームページ更新や会合のご案内を送らせていただきますのでメールアドレスをご登録下さい。

宛先：omc-women@jinsenkai.net（仁泉会事務局内、女性医師の会）

件名：メールアドレス登録

登録内容：①氏名（旧姓）、②卒業年度もしくは学期、③メールアドレス

※ご案内に変更がありました。差し込みのご案内をご覧ください。



ホームページ

大阪医薬大 女性医師の会

QRコードは（株）デンソーウェブの登録商標です

大阪医科大学 創立100周年 記念事業

数十年先の未来医療へ

# 大阪医科薬科大学病院 新本館建築プロジェクト

## Super Smart Hospital

### スマート医療を推進する大学病院

「バイオフィリア」という概念を取り入れ、自然と触れ合うことで健康や幸せを得られる空間を実現。

AIやロボットなど先端技術を活用し、効率的で「安全・安心な高度医療」を提供。

最先端の医療技術や高度な多職種連携の学びにより次世代を担う「優れた医療人を育成」。



2027年全容完成予定

2025年B棟完成

2022年A棟完成



Since 1927

1960年病院1号館完成



### 募集要項

募金目的▶大学病院新本館建築に係る資金、学生支援体制の充実

募金目標▶10億円

募集期間▶～2027年3月

募金単位▶個人：1口1万円、法人：1口10万円

顕彰▶個人、法人ともに5口以上ご寄付いただいた方は、銘板にご芳名をしるし、末永く顕彰いたします

特典▶個人：10口以上、法人：5口以上ご寄付をいただきました方は、健康科学クリニックの人間ドック（基本コース）1回分の無料受診券を進呈します。

申込方法▶学校法人大阪医科薬科大学寄付WEBサイトよりお申し込みいただくか、募金推進本部迄ご連絡ください。



## 大阪医科薬科大学基金

大阪医科薬科大学基金は、皆様からいただいた募金を積み立てて資金運用することによりさらに増やしていくもので、基金の拡充は、長期間にわたる「教育・研究活動」「良質な医療の提供」の強化に繋がります。

### 募集要項

募金単位▶個人：1口1万円 法人：1口10万円

申込方法▶学校法人大阪医科薬科大学寄付WEBサイトよりお申し込みいただくか、募金推進本部迄ご連絡ください。

【お問い合わせ先】募金推進本部 072-684-7243

【税制上の優遇措置】学校法人大阪医科薬科大学は特定公益増進法人です。大阪医科薬科大学に対するご寄付は所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置を受けることができます。また一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。

学校法人大阪医科薬科大学 募金推進本部 〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7  
OMPU Tel: 072-684-7243 Mail: kikin@ompu.ac.jp Web: <https://www.ompu.ac.jp/donation/index.html>

至誠仁術を備える人材の育成をめざして  
ご支援のお願い